



第9回自然花まつりinきぐっちゃ

■12月23日に木口屋集落で開催され、たくさん家族連れでにぎわいました。参加者は、餅つきやそば打ち、ミニ門松作りなどの体験活動とおし、親子の絆を深めていました。



昔ながらの遊びで 交流を深める

■枕崎地区児童クラブ交流会が1月5日、枕崎小学校体育館で行われ、市内の学童クラブから約200人が参加しました。児童たちは、けん玉やコマ回し、お手玉などの昔ながらの遊びを楽しみながら、交流を深めていました。



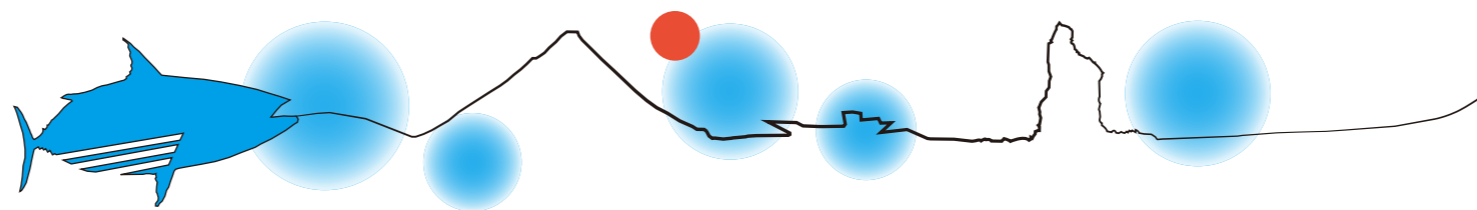
田布川集落で鬼火焚き

■1月7日、田布川町の田の神様近くの田んぼで行われました。集まった地元住民たちは、火の神乙女太鼓の演奏や枕崎舞炎鯉のよさこい踊りを楽しみながら、高々と燃え上がる炎にそれぞれの願いを込めました。



平成30年〈新〉年！街に感謝の駅祭り

■1月14日、枕崎駅から始まるまちづくり事業の一環として、枕崎駅前広場で開催されました。歌やダンスなどのステージのほか、鹿水高ラーメンや枕崎鯉船人めしなどさまざまな店も並び、会場は多くの来場者で賑わっていました。



子どもたちの防災の意識を高める ～枕崎ライオンズクラブ青少年防災啓発活動

12月12日、13日に市内全小学校で地震体験学習が行われました。これは、枕崎ライオンズクラブによる青少年の防災啓発活動の一環として行われたものです。

枕崎小学校では13日に、6年生を対象に行われ、地震実験車で東日本大震災と同じ震度7の揺れを約15秒体験し、地震の怖さを肌で感じました。

また、県地域防災アドバイザーの福崎純孝さんによる「地震・津波から命を守る」と題した講話もあり、地震が起きた時の行動やもしもの時への備えなどについて学びました。

岩元大雅くんは「震度7はとても怖いと感じました。地震が起きた時は、すぐに安全な場所に避難することが大事だなと思いました」と話してくれました。



1秒でも早いタイムを目指して ～別府小学校持久走大会事前練習

1月13日、別府小学校で県下一周駅伝競走大会の川辺チームの森昌弘コーチ、丸野大樹選手、有上純充選手の指導のもと、持久走大会の事前練習が行われました。低学年・中学年・高学年に分かれ、選手らと一緒に走ったり、ウォーミングアップの仕方や呼吸法などを学んでいました。

駒水春香さん(5年)は「今までできていなかったことを教えてもらったのでとても参考になりました。大会では、1,500mを7分以内に走ることを目標に頑張りたいです」と話してくれました。

100歳おめでとうございます

～今門ユキさん(園見本町)

今門ユキさんが1月10日、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

今門さんは枕崎で生まれ育ち、結婚して4人の子どもに恵まれました。趣味はカラオケで、とても上手と周りの人から言われるそうです。訪問の際は、自慢の歌声を披露してくれました。

長寿の秘訣は「くよくよせず、楽天安なところ」と話します。

これからも元気で長生きしてください。



100歳おめでとうございます

～園田サチさん(住吉町)

園田サチさんが1月20日、めでたく100歳の誕生日を迎え、22日に市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

園田さんは枕崎で生まれ育ち、結婚して5人の子どもに恵まれました。以前は化粧品のセールスでお得意さんの家々を歩いて訪問していました。

園田さんは「人と接することが好きで、よく歩いていたことが元気の秘訣になっているのかも。現在は、週3回のデイサービスに通うのが楽しみ」と話します。

これからも元気で長生きしてください。



覚えよう「いかのおすし」

～別府小学校で防犯教室

1月13日、別府小学校で枕崎警察署による防犯教室が行われました。

「いかない、のらない、おおごえでさけぶ、すぐ逃げる、しらせる」の頭文字を取って、子どもが犯罪に巻き込まれないための約束事をまとめた標語である「いかのおすし」を警察署員が劇を交えて紹介しました。

その後は校庭でパトカーの展示などが行われ、子どもたちはパトカーに乗ったり、警察署員の装備品などを興味深く見学していました。



茅野子ども会に優良少年少女団体表彰 ～平成29年度県優良少年少女団体表彰

南薩地区子ども会安全教育研修会・創作活動大会が、12月16日に南さつま市ふれあいせせで開催され、茅野子ども会が「平成29年度鹿児島県優良少年少女団体」の表彰を受けました。

茅野子ども会は、これまで高齢者と一緒に行う神社清掃をはじめ、空き瓶回収や美化活動に積極的に取り組むなど地域の活性化に大きく貢献しています。